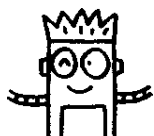


大阪の陣は、どんな戦いだったの



冬の陣ではもちこたえた大阪城が、徳川家康のは
かり事によって、夏の陣で落城したんだよ。

大阪冬の陣は、豊臣方が善戦して、もちこたえた

1614年11月、徳川家康は大阪城攻撃を始めました。豊臣方は、木村重成・後藤又兵衛らが善戦して、もちこたえました。特に、城外の真田丸というとりでに立てこもった真田幸村の軍は、鉄砲ではげしく攻撃して、徳川方を苦しめました。家康は、和ぼくしようとしましたが、豊臣秀頼や、その母の淀君は、和ぼくに反対しました。そこで家康は、城内に大砲のたまをうちこんだり、トンネルをほったりして、豊臣方をおびやかす作戦に出ました。この作戦によって、弱気になった淀君が、和ぼくに賛成したため、12月に和ぼくが成立しました。

大阪城の外堀が、うめ立てられてしまった

和ぼくの条件に、「臨時につくられた堀や矢倉は、徳川方が取りこわす」という文がありましたが、徳川方は、城の外堀を、かつてにうめ立ててしまいました。そのため、大阪城は、内堀しかない、はだか同然の城になってしまいました。

大阪夏の陣で、豊臣氏がほろびた

家康はさらに、豊臣方が臨時にやとった侍を全員、追放するように命令しました。これにおこった豊臣方が、侍を増やすと、家康は1615年4月に、ふたたび大阪城攻撃を始めました。豊臣方は、真田幸村が、2度も家康の本陣を攻めくずすなど、善戦しましたが、結局は敗れて、大阪城は火につつまれました。秀頼・淀君は自殺し、豊臣氏がほろびました。秀頼の妻千姫（徳川秀忠の娘）は、火の中から救い出されました。

真田幸村の家来の、猿飛佐助ら真田十勇士は、大正時代につくられたお話だよ。

